

平成27年6月19日

ゆうちょ銀行の預入限度額引き上げに関する報道について

一般社団法人全国信用組合中央協会
会長 渡 邊 武

自民党の「郵政事業に関する特命委員会」において、ゆうちょ銀行の預入限度額を9月末までに2千万円、2年後までに3千万円に引き上げる旨の提言案が取りまとめられたとのマスコミ報道がありました。

ゆうちょ銀行の完全民営化の道筋が示さないまま、国の信用力の背景の下での預入限度額の大幅な引き上げは、ゆうちょ銀行への預金シフトを招き、信用組合にとって預金の減少など多大な影響を受けることが予想されます。

また、信用組合の取引先である地域の小規模事業者等に対する円滑な資金供給に支障を生じさせるおそれがあります。

信用組合業界としては、地域の創生や活性化などにおいて、ゆうちょ銀行と連携・協調を図っていくためにも、預入限度額は引き上げるべきではないと考えております。

以 上